

Voice



ださい ゆういちろう
太宰 雄一郎さん
白石市姉妹友好都市
交流協会会長

市民交流に重点を置いて30周年。幅広い交流を続けていこうと交流を深めてきた。8月の登別市での記念式典では姉妹都市の各市民団が相互に交流。地獄まつりのパレードに白石市民団も参加し、よい思い出になった。30周年を機に姉妹都市・友好都市との交流がますます拡大していくことを願う。

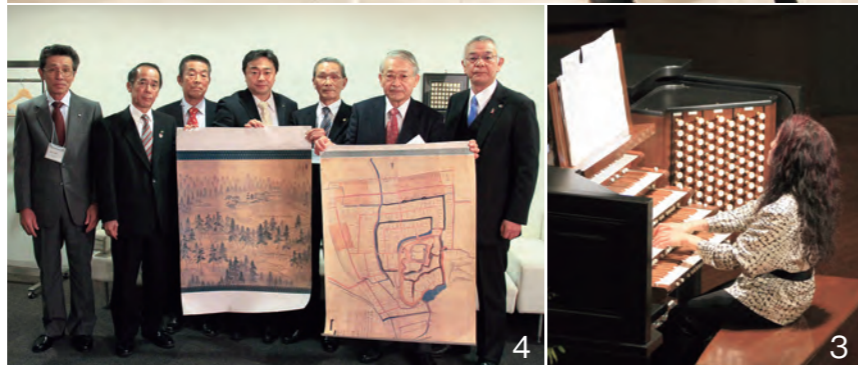


さとう よしかず
佐藤 善一さん
一般社団法人
白石市観光協会会長

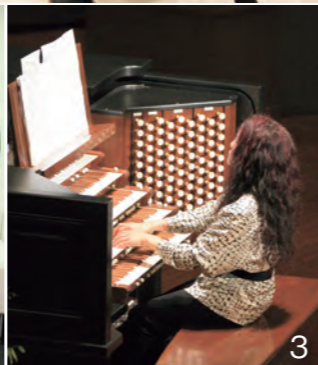
30年はすばらしい歴史だと思う。東日本大震災以降、本市を支援していただいた姉妹都市や友好都市の皆さんとのつながりや絆をより強く感じている。来年は海老名市との姉妹都市締結20周年。姉妹都市の子どもたちが白石の地を感じながら交流できるイベントなどを考え、未来を担う子どもたちが視野を広げてくれたらうれしく思う。



2



4



3



5



6

1_式典であいさつを行う風間市長。式典には約180人が参加 2_祝賀会のアトラクションで「景綱囃子」を披露する「大鷹沢子ども太鼓」。演奏後、大きな拍手で会場が沸いた 3_式典のアトラクションで「白石子守歌」など2曲を披露する吉村昌美さん。パイプオルガンの消え入るような繊細な弱音から体を揺さぶるような重低音が会場に響き渡った 4_10月15日、登別市・白石区を訪問した「大鷹沢自治会長会」の代表が、永い友好と震災復興支援への感謝の気持ちを込めて、小笠原登別市長と内野海老名市長、白石区ふるさと会の武藤征一会長に「白石城下絵図」を寄贈 5_祝賀会のアトラクションで「仙南長持唄」を披露する白石市文化協会の左から一條泉鈴さん（尺八演奏）、本郷一良園さん（唄）、一條武治さん（うけ） 6_8月25日、登別市「交流の森」で行われた記念植樹。参加者はそれぞれの想いを込めて、ヤエザクラとエゾヤマザクラを植えた



1

白石市・登別市姉妹都市締結30周年
友好・親善交流を誓い合う！

白石市・登別市姉妹都市締結30周年記念式典・祝賀会をホワイトキューブで開催

11月8日、「白石市・登別市姉妹都市締結30周年記念式典・祝賀会」をホワイトキューブで開催した。式典には、本市と登別市のほか姉妹都市の海老名市や友好都市の札幌市白石区の関係者など約180人が出席。今後のさらなる友好・親善交流を誓い合った。

姉妹都市締結は、明治3年6月、白石城主・片倉邦憲の家臣団などが幌別郡に入植。明治21年まで片倉家三代にわたって未開酷寒の原野を開拓した歴史的なつながりが縁である。

昭和57年5月、白石青年会議所と登別青年会議所が姉妹青年会議所となり、昭和58年10月26日、両市が姉妹都市締結を行った。以来、産業経済、教育文化、福祉の交流と親善などさまざまな分野で相互交流を行っている。

式典で風間市長は、「交流の歴史を積み重ね、絆を強く創り上げることができたのは、先輩方の熱意で交流の扉が開かれ、多くの人々がさまざまな種を蒔いてきてくれたから。敬意と感謝を申し上げる。蒔かれた種は、白石市・登別市・海老名市の3市による『トライアングル交流』という花を咲かせ、札幌白石区も含めた大きな交流の大輪となっていることは、大きな成果であり誇り。この大輪の花を後世に引き継ぐとともに、新たな種を蒔き、友情の輪を広げていきたい」とあいさつ。小笠原登別市長は「8月に登別市で開催された『登別市・白石

市姉妹都市提携30周年記念式典及び祝賀会」には、白石市のほか、海老名市や札幌市白石区の関係者などが一堂に会し、記念すべき年を迎えた喜びを分かち合えたことは、何物にも代えがたい喜びで感謝する。今後もさまざまな交流を通して、3市1区の絆の発展に尽力してまいりたい」とあいさつした。

続いて海老名市内野優市長が、「首長同士が仲が良いことがさらなる市民間の交流につながる。来年は白石市と海老名市が姉妹都市を結び20周年。『友だちの友だちは友だち』。30周年を契機に、3市の交流をより深めていきたい」と祝辞を述べた。

続いて行われた記念講演では、本市の櫻井和人参議員が、「片倉家臣団の北海道開拓」について講演。戊辰戦争の敗北から北海道開拓に渡るまでの経過などを説明した。講演の結びで櫻井学芸員は、登別町史では、当時の町長が序文で「開拓の斧を初めてふるったのは、白石城主の片倉一門であった」と、登別開拓の第一歩に片倉家臣団を位置付け、さらにその序文の前に片倉信光さんの文が掲載されていることを紹介。また、登別市ホームページの「市の変遷」の冒頭の記事が「明治2年の片倉家の幌別郡支配を命ぜられる」という所から始まっていることにふれ、「登別の皆さんが白石と片倉の殿さまを大切に思っていることを感じ、武士として誇りを持って渡った私たちの先祖が築いたこの関係を大切にしたい」と話した。